

令和4年度 地域ネットワーク構築事業 筑前でしごと体験講座①

## 「筑前朝倉に伝わる伝統工芸品秋月和紙を作ろう！」

【 事業報告 】

1. 趣 旨 古来より人々は、地域で収穫される作物や原材料を手仕事で加工してものづくりを行ってきた。そのため、地域の自然と人々の生活は目に見える形でつながり、自然と人々は長い間共に歩んでくることができていた。やがて工業化がすすみ、手仕事によるものづくりは機械生産による工業製品にとって代わられるようになった。それにより地域の自然と人々の生活は切り離され、自然と人との関係性や「一つのことを大切に作る心」も薄らいてきている。

当事業では「手仕事」により地域の自然や生産をつなぎ、「地域の持続可能性」について考えるきっかけを作る。1回目の講座では、筑前朝倉に江戸時代から続く秋月和紙。その伝統的な製法である手すき体験を通じて、地域の歴史や文化を学んでいく。

2. 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家

3. 日 時 令和4年12月18日（日）

① 10:00～10:50 ② 11:00～11:50

③ 13:00～13:50 ④ 14:00～14:50

⑤ 15:00～15:50

4. 内 容 秋月和紙 手すき体験

5. 講 師 筑前秋月和紙処 井上 賢治 氏

6. 協 力 筑前秋月和紙処

7. 対 象 子供（小学生または中学生）とその家族

8. 会 場 筑前秋月和紙処（朝倉市秋月 424-2）

9. 参加者 6家族18名

## 10. 事業の実際



## 11. アンケートから

- とても良かったです。秋月にはじめて来て良い発見でした。歴史の話も興味深いものでした。
- 日本の伝統を学べるプログラムが素敵でした。和紙の歴史や作り方が知れて面白かった。
- 初めて体験できて幸せです。親子で楽しめました。
- 時間に余裕がありよかったです。大変勉強になりました。
- 紙漉きの伝統をずっと残し続けてほしいです。

## 12. 成果

- 筑前秋月和紙処と連携し、筑前朝倉地域に伝わる伝統的な製法である手すき体験をすることができた。
- 和紙の手すき体験と共に秋月の歴史や伝統についても学ぶことができた。
- 地域の自然と生産をつなぎ「地域の持続可能性」について考えるきっかけを作ることができた。

## 13. 課題

- 西洋和紙との比較等があればより勉強になるとの意見があった。
- 複数の時間帯に同じファミリーが申込をしていたため、キャンセル待ちの枠をもっと増やした方がよいと思った。

### 【本件担当】

国立夜須高原青少年自然の家

事業推進係 山下

〒838-0202 福岡県朝倉郡筑前町三箇山 1103

TEL:0946-42-5811 FAX:0946-42-5880

Eメール:yasu-jigyoku@niye.go.jp